



# 見微知著

2007年度  
(社)鳥取青年会議所  
広報誌 3月号



# 因幡

INNOVA [ina:va]  
変革

鳥取青年会議所 検索  
URL <http://torijc.main.jp>  
E-mail [torijc@hal.ne.jp](mailto:torijc@hal.ne.jp)

写真:流しびなもちがせの流しびなは旧暦の三月三日、男女一対の紙雛を棧俵にのせ、菱餅や桃の小枝を添えて、災厄を託して千代川に流します。無病息災で一年間幸せに生活できますようお願い情緒豊かな民俗行事です。

三月 理事長挨拶 安陪 幸伸

さて、改革改革と進んできた鳥取県の県政ですが今年四月で県政トップの交代です。私達県民は次の時代の重要な選択の時期に来ているのではないのでしょうか。現在、立候補の意思表示をされている候補者が二名いらっしゃいます。この両名がどのようなビジョンを持ち、未来の鳥取県をどのようにしたいと考えているのか、一人ひとりにして非常に興味を持てる場所があります。くしくも本年より公職選挙法改正で首長選挙におけるマニフェストの配布が解禁となりました。現時点では両候補者よりマニフェストが出てくるのか不明ですが、出てきた折には是非とも選挙当日までには読んでおきたいと思っております。

関連ではあります。三月十二日に開催されました「鳥取県明るい統一地方選挙推進大会」に参加してまいりました。内容についてのコメント等はまたの機会にでもお話し出来ればと思います。が、今回は配布資料の表に書かれていたフレーズが目にとまりましたのでお話ししたいと思います。表紙には「とっとり未来を築くこの一票」つくりたい未来があるからこの一票と書かれています。本年(社)鳥取青年会議所は基本理念に将来に希望の持てるまち・・・と活動をしてまいります。有権者の一人一人が、将来に希望の持てるまちを築く行動として、投票所に行きその貴重な一票を投票することは、誰にでも出来る能力者としてのまちづくりの第一歩ではないでしょうか。

2007年度 日本JCスローガン 「日本の力」発信! 理想国家日本の創造に向けて!

2007年度 鳥取JCスローガン 目標を見定め「我」実行せん!

## ■ まちづくりの仲間紹介 ■

毎月、鳥取県東部で活躍されているまちづくり団体をご紹介します

### 鳥取市ボランティア・市民活動センター

鳥取市ボランティア・市民活動センターは、平成7年10月に多くの市民がいつでも、どこでも、だれでも参加できるようなボランティア活動の拠点・総合窓口として設置されました。また、平成16年4月1日からはボランティアだけでなくNPO法人なども含んだ、より幅広い市民活動に対する支援を行っていくことを考え、鳥取市ボランティア・市民活動センターに名称変更を行いました。

広報・啓発活動を通じてボランティア・市民活動への理解、関心を高めると共に、市民の幅広い参加を呼び掛け様々な分野からボランティア・市民活動を支援していきます。  
お問合せ TEL 0857-29-2228

<<ボランティアとは>>  
ボランティア活動は、誰もが人間らしく豊かに暮らしていける社会を目指し、それぞれ自分の身近なところで、日々の生活の中で出来ることを考え自発的に行動することです。

<ボランティア活動>は自主的、主体的な活動です。  
<ボランティア活動>は見返りを求めない活動です。  
<ボランティア活動>は広い意味での福祉を実現する活動です。  
<ボランティア活動>は社会を動かすきっかけをつくる活動です。

## まちづくり情報

<桜まつり>  
久松公園と袋川堤防をボンボリでライトアップ。幻想的な雰囲気の中でお花見をお楽しみください。開花状況によって早まる可能性あり。  
日時 平成19年3月31日～4月15日  
ライトアップ 18:30～22:00  
場所 久松公園、袋川堤防

<第8回鳥取三十二万石 お城まつり>  
勇壮な「時代行列」、郷土芸能満載の「花見橋宴の舞」、川の中から桜見物のできる「花見カヌー」など、今年も多彩なイベントで城下町鳥取の雰囲気を満喫できます。  
日時 平成19年4月7日 13:00～21:00  
4月8日 11:00～17:00  
場所 若桜橋から智頭橋一帯ほか  
お問合せ 鳥取市観光協会 TEL0857-26-0756

## ○ 事業報告 ○

### ♪ 3月1日(木) 若草学園施設交流会

相互交流を通して人と人とのつながりを感じ、やさしい共生の心と互いの絆を育み、また福祉への取り組みや助け合いのあるまちづくりについて考えを深めるため、今年も若草学園との交流会を行いました。将来に希望の持てるまちとなるよう今後も活動を広げて行きたいと思っております。

<お礼の言葉>  
この度は園の先生がたには、前日準備で大変遅くまで残って頂き、本当にお世話になりました。またメンバー、鳥取大学の生徒さん達とこのような素晴らしい会を行えたことは本当に良かったと思います。今後また違った関わりが出来れば更にいろいろなことが出来る気がします。園の生徒さんが楽しんでいただけるかがなにより心配でしたので、喜んでいただけて本当にうれしく思います。当日拙い運営でしたが、皆様のご協力があった楽しい会が行えた事に感謝致します。  
福祉委員会 委員長 保木本秀行

<保育士さんの感想>  
今年もJCさんには「春のお楽しみ会」を行っていただき、ありがとうございました。様々な楽しい遊びを考え準備していただき、また、子どもたちにも優しく声をかけて接していただき、子供たちは安心感の中でしっかり遊ぶことが出来ました。  
普段は経験したことのない大きな迷路を何回も楽しむ姿や、とても大きなシャボン玉に「すごーい!!」と感激する声も聞こえてきました。また、キャタピラやボーリング遊びでは子どもたちが遊びを展開していく姿も見られました。お絵描きもじっくり取り組み、「上手ー!!」と褒められ、とても嬉しそうでした。  
親子で楽しい時間を過ごさせていただいたこと、また、子どもたちのすてきな笑顔がたくさん見られたことに、私たち職員一同感謝しています。本当にありがとうございました。  
若草学園 保育士 丸山裕美

◆ 今月の表題 ◆  
見微知著・・・けんびちぢょ  
芽生えを見て、全体の姿をつかむ。ちょっとした手掛り、ヒントから全体の方向や本質を見抜くこと。著は、顕著の意。  
参照・・・「四字熟語」これだけ辞典

# 今日のテーマ 「福祉」

## ◆今年の活動

福祉委員会 委員長 保木本 秀行

(社)鳥取青年会議所は創立以来、福祉に根ざしたまちづくり活動を推進し、施設交流や献血の推進、障害者への理解、高齢者福祉の向上に向けた取り組みなどを行ってきました。



1962年から若草学園との交流が続いています



長年に亘る献血活動が評価され、2度の厚生労働大臣表彰を受賞致しました

## ◆過去の取り組み

過去の活動の一部を紹介致します

- 1962～1987 施設合同運動会
- 1963～1965 白兔学園との交流
- 1963～2003 積善学園との交流ひなまつり
- 1963 各施設(図書)の寄贈
- 1965 若草学園との交流
- 1968 施設ひなまつり
- 1969 一日里親(神戸)
- 血液型台帳作成
- 1970 鳥取県内献血状況調査
- 社会福祉施設管理者との懇談会(東部地区全施設)
- 県内心身障害者児の実態調査
- 県内救急医療体制の実態調査
- 救急医療体制確立のための懇談会
- 青谷子供学園児をピクニックに招待
- 1971 交通遺児調査
- 1972 献血推進協議会結成総会
- 1972 献血の推進
- 1973 献血問題に対するアンケート調査
- 1980 精神薄弱者育成会15周年チャリティーオークション

## ◆ユニバーサルデザイン

福祉について考えるときに欠かせないユニバーサルデザインについて紹介します。

### UDの概念

年齢、性別、文化、身体状況など、人々が持つ様々な違い(一人ひとりの多様性)を尊重して、はじめから誰もが利用しやすいように、製品、建物、環境、サービスなどをつくり、誰もが暮らしやすい社会を実現しようとする考え方のことです。

大切なのは、単にハード面での工夫改善結果だけではなく、そこに至るまでにさまざまな利用者の意見をとりいれる態度と協働で作り上げていく過程であり、また誰でも高齢や疾病、障害の立場に立ちうるということを常に意識し改革に取り組む姿勢です。

### UDの7原則

できるだけ多くの人の要求に対応できる様な特徴を上手く組み込んで理想的なデザインを目指す指針の事です。

- 1、誰でも公平に利用できる。
- 2、使ううえで自由度が高い。
- 3、使い方が簡単ですぐ分かる。
- 4、必要な情報がすぐに理解できる。
- 5、うっかりミスが危険につながらない。
- 6、無理な姿勢をとることなく少ない力でも楽に使用。
- 7、アクセシブルで使いやすいペースと大きさを確保。

資料提供 鳥取県人権推進課

# 因幡この人と聴く！

このコーナーは毎月因幡地域においてその言動が注目されている方々にお話を伺います。

今月は「福祉」をテーマに 鳥取市立若草学園園長 原 節子さんと安陪理事長が対談を行いました。福祉についてだけでなく、子育て、教育そして私たち人間の根幹についての考えまでお話が及び、意味深い対談となりました。(鳥取市立若草学園：発達に遅れのある子ども達のための通園施設。一人ひとりの発達に応じて集団、あるいは個別で療育し、子ども達の健全な成長と将来地域社会で自立した生活ができるようになることを目指す。)

原/はい。何よりも長きに亘りご理解、ご支援をいただいていることに感謝しています。皆さんのような青年の方々に交流を続けていただいていることは大変うれしいことです。毎年思考を凝らして子ども達が普段体験できないことをしてもらえ、親御さんも含め大変ありがたく思っています。今年には体育館にお手製の迷路を作っていたとき、子ども達も大喜びでした。



〈 原節子園長 〉

安陪/私も毎年のように参加させていたのですが、子ども達の発想の豊かさ、自由さについても驚かされます。原/子ども達が新しい体験ができるようにと考えてくださる皆さんのアイデアの方も素晴らしいです。安陪/実は私たちがこの交流事業に関しては、毎年ありがたく思っています。福祉の観点で、人に対する優しさの醸成や様々な気付きを与えてもらっています。以前から若いメンバーに対しては積極的な参加を促しています。それは多くの経験をさせてもらえ、この事業を経験して皆が一人前に近づいているように感じています。

原/今後もぜひ続けていただきたいですね。皆さんに毎年お世話になっていると、殺伐とした世の中といわれますが、まだ捨てたものではないなと感じます。特に青年の方々がしてくださるというのがすごく良いことだと感じています。安陪/この取り組みが多くの人の心のバリアフリーにつながっていくのは良いと考えています。私たちがだけではなく多くの市民の方々にこういう交流の場が増えていってほしいと思っています。いわゆる健全な生活している社会が本来あるべき姿であります。相互理解をし、それぞれの個性として理解していくのが普通のことであるのではないのでしょうか。原/そうですね。障害者が暮らしにくいから健全者との開きや違いが出てくると思います。少し個性が違うくらいで、誰もが不得意なところはあつて、それがよく見えるか見えないかの違いだと思います。例えば自閉症なども苦手なことが少し強くでるといっていただけなんです。安陪/障害は病気ではないですからね。私たちの交流事業もかつてはお遊戯や出し物など多岐にわたっていました。近年は子ども達と一緒に楽しく遊ぶことができます。子ども達の交流がより密になつてきていて良いことだと考えています。原/そうですね。子ども達と直接触れ合ってもらおうと、交流がふれあいになつてより理解が深まっていると思います。安陪/子ども達にもいろいろな経験、体験が大切ですよ。



〈 安陪幸伸理事長 〉

原/はい大切です。そこから色々学べますから。

司会/現在の行政の取り組みについて少しお話を伺います。原/福祉の必要性はむしろ大人に感じていて、様々な取り組みを行つていて、皆が平等という観点で人権啓発などにも取り組んでいます。しかし福祉は行政が率先はしますが、本当はやはり、草の根での市民意識の醸成が必要かと思つています。安陪/鳥取市は福祉宣言都市と掲げていますね。

原/そうですね。自立支援法も施行されました。行政はもちろん力を入れて取り組んでいます。しかし実態とそぐわない場合も若干あったりします。やはり市民の皆さんにも興味を持つてもらい、周りから福祉への理解の声がもつと上がってくることを期待しています。安陪/以前より負担が増えたりしているのも耳にします。財政のことばかり見ているのではなく、しっかりとした目的を持って取り組みをして欲しいとも思っています。

原/なによりも皆さんのご理解を深めていただけたらありがたいと思います。

近年、子ども達もどんどん各地域で生活していています。気になるお子さんは増えてきているように感じます。今までは見えなかったのかもしれないが、私たちがそういった子ども達と接する上でいつも大切にしてきていることは、子育てのベースは誰にでも一緒であるはずということです。ドクターの判断、診断を鵜呑みにしてはならないのかと思います。子ども達の環境と信頼関係がなによりも大切で、受け止めてくれる大人がいるのといないのでは、子ども達の反応が全く違うんですよ。また色んなことを経験することで、新たな感性が生まれたりもします。最近では色々な団体なども声をかけてくれ、大勢の福祉の輪が広がりになり、様々な個性を持つ人たちが社会地域に溶け込めるのだと思います。何より人としてのハートが大切ではないでしょうか。

安陪/そうですね、ハードの整備や施策ではなく人間としての気持ちや考え方のほうが大切ですね。原/以前はみんなと一緒に行動ができるのが良い子というのが世の中の感覚だったと思います。しかしそれぞれの個性をどう伸ばすのかが大切なのかなと、やはり感じます。得意なところを伸ばしてあげると苦手なところも伸びていきますね。時間のゆとりではなくなりましたが、大切にしたいと思います。安陪/そうですね。私たちがそういった観点を忘れず、取り組みをしていきたいと思います。今日はありがとうございました。